

令和6年度 事務研究部研修計画

1 研修テーマ

気づいて・考えて・行動して

『はままつ型学校事務』を創造しよう！

～専門性を追求し合う学校事務職員～

2 テーマ設定の理由

学校事務職員は、平成29年度、学校教育法改正により事務をつかさどる職として規定されました。

さらに、令和2年4月1日浜松市教育委員会が示した「はままつ型学校事務」及び「学校事務職員の標準的な職務・業務一覧」では、専門性の高い業務をより多くの学校で学校事務職員が担うことは業務改善の推進が期待され、学校運営のより一層の充実を図るためのものとされています。

このことを受け、事務研究部では令和3年度に「学校運営参画を具現化する手立て」を、令和4年度に「学校運営参画具現化のための意識的な取り組み」と『はままつ型学校事務』の更なる推進と定着」を、さらに、昨年度は「浜松市学校事務職員育成指標」に示されたキャリア段階に応じた資質能力と必要な知識を習得するため、『相互の学び』の強化、知識、経験の集積」を研究、そして、実践してきました。特に、昨年度の重点であった『相互の学び』では多くの「学び」と「気づき」がありました。

そこで、今年度も『相互の学び』を継続しつつ、個々の専門性をさらに高めるため、新たに『考える力の向上』にも努めます。

3 研究の重点

(1) 『相互の学び』と『考える力の向上』

近年の動向として、若手教職員の割合が増え、加速度的に世代交代が進んでおり、多様な経験、専門性を相互に伝え、学び合う場が重要であると考えます。

事務研究部では、昨年度同様、参集しての協議や研修の場を『相互に伝えあう』『先輩から学ぶ』『後輩から刺激を受ける』機会として有効活用し、さらに、そこで得た知識、身につけた資質能力を、自分の実践にどのように取り入れるべきか、判断、選択、応用するために必要な『考える力』を鍛えます。

(2) 具体的活動内容

ア 参加型研修や協議を実施し、他者の意見や実践から学ぶ（気づく）

イ 『私も やりたい』『私なら こうしたい』という思いを具現化（考える）

ウ 実践結果（研修成果）の共有